

卒後2年目「院内体験」 ～他の部署の看護実践を学ぼう～

令和元年8月～令和2年2月の期間で、卒後2年目看護職員に対して「院内体験」研修を行いました。この研修は、研修者が希望した部署に行き、他部署とのつながりや看護を体験し、看護の継続や自部署で経験できない看護技術を学び、自分の看護に活かすことを目的としています。1か月後の自部署での看護実践報告では、「患者からの手術や検査の質問に、より具体的に説明できた。」「退院後の生活をより意識して、情報収集するようになった。」「患者の情報を自ら発信し、チームで共有した結果、患者の安全・安楽につながられた。」など学びを活かしていました。



10階東ナース
ステーション



10階西ナース
ステーション



8階西ナース
ステーション



手術部



外来化学療法
センター



光学放射線
診療部



救命救急
センター

【研修者の学び・感想】

- ・手術、検査の一連の流れが理解できた。患者のオリエンテーション時に、より具体的にわかりやすく説明し、患者が安心して治療が受けられるようにしていきたいです。
- ・患者へのプラスのフィードバックや目標の共有は、リハビリへの意欲の向上につながる。退院を見据え、ADLの状況を客観的に評価し、支援することの重要性を学びました。

【研修部署の指導者の感想】

- ・研修者から疑問や質問を受けることで、自部署の看護実践の根拠を振り返る良い機会となりました。
- ・お互いの部署の看護を理解できたことで、今後、どのような連携をはかっていくことが、患者の安全・安楽につながるかを考えることができました。